

# 2016年度 SIP-adus 施策概要

|      |                          |
|------|--------------------------|
| 施策名  | レベル3/4の実現に向けた実証実験・事業化の調査 |
| 担当組織 | 豊田通商株式会社                 |

研究代表者名 奥野 潤

## プロジェクトの目標、背景

自動走行システムの実現性の観点から相互に関係性が深い5課題:①ダイナミックマップ、②HMI、③情報セキュリティ、④歩車間事故低減、⑤次世代都市交通、それぞれの達成目標を具体化し、実用化・実証に向けた課題や、実証項目、実証規模を含めた内容、実証に向けて必要な準備項目を整理する。それらも鑑みて、実フィールドでの実証実験場所の選定や実証実験に関係するステークホルダーの整理を行い、準備を含めた実証実験のスケジュールの策定を行う。また、社会受容性向上、国際協調推進に向けた実証実験の発信計画を立案する。

## プロジェクトの概要

1. 実証5課題における達成目標の具体化および実用化・実証に向けた課題の整理  
SIPの既存組織および各課題の取組について概要を整理し、そのうえで5課題各リーダー等と協議を行いつつ目標・課題を整理した。
2. 実証内容や実証に向けて必要な準備項目の整理  
実験実施及び運営に向けた各組織の役割を明確化し、各種課題における実証実験実施者が行うべき実施項目および実験全体を取り纏める事務局が行うべき実施項目を整理した。
3. 実証実験場所の選定  
大規模実証実験企画タスクフォース第2回の意見集計結果および第3回での検討資料、SIPにおけるこれまでの既存検討結果および関係省庁との協議結果を踏まえ、実証実験実施場所を選定した。
4. 実証実験のステークホルダーの整理  
実証実験実施場所に基づく課題毎のステークホルダーを一般道、自動車専用道に分けて抽出し、そのステークホルダーの位置付け等を整理した。
5. 実証実験計画の策定  
上記項目の内容を踏まえ、全体計画および各課題毎に実証実験実施計画書を作成した。また実証5課題の内、参加者を募集するダイナミックマップ、HMI、情報セキュリティについては、参加者募集要領及び参加申請書類を作成した。
6. 実証実験の発信計画の立案  
各課題の実証実験内容および全体のスケジュールを踏まえて、課題毎に必要な広報・周知計画を立案した。  
また、各実証実験に加え、社会受容性向上イベントの計画を策定した。

## 今後の課題

- ・各関係機関との調整の遅れからダイナミックマップ、HMI、次世代都市交通の3課題においては実施計画書の最終化なされていないため、次年度における各実証受託者を決定する前に最終化を行う必要がある。
- ・実施前には沿線自治体等関連機関との協議調整が必要となる場合が想定される。